

(様式 1 - 表)

令和 7 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	5	豊田市立 前山小 学校	代表	大野 秀幸
------	---	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、iその他（ ）】から選ぶ。

テーマ	豊かで温かい心をもつ児童の育成	分野	i	その他
	サブテーマ 一魅力ある教育環境づくりを通して一	ii(その他)は分野を右欄に記入	安全・健全	
学校づくりの視点（ねらい）	・安心、安全な環境づくりを通して、安心して学校生活を送ることができるようにする。また魅力ある教育環境づくりを進めることで、豊かで温かい心をもつ児童を育成する。 ・校内整備員を適切に配置することで、校内の施設の整備や修繕、屋外の環境整備を進める。 ・縦割り活動の一環である縦割り清掃を通して、自分たちの学校を自分たちできれいにするという気持ちを育む。 ・環境委員会を中心に生き物広場を効果的に運用することで、児童の情操を育む。 ・ラベンダーの育成や観賞後のサシェづくりなどを、児童と前小サポーターが協働して行うことで、地域に愛される「ラベンダーの学校」を目指す。 ・保護者や地域の方が登録している「前小サポーター」の方々から、教育環境を整える活動の支援を受けていることを知ることで、感謝の心を持ち、多くの人に大切にされているという自己有用感を育む。			
活動内容・計画	①安心・安全な教育環境づくり ・校内整備員と連携し、計画的に学校内外の環境整備を進める。 ②縦割り清掃 ・高学年が低学年に清掃の仕方を教え、協力して清掃活動を行うことで、自分たちの学校は自分たちできれいにするという気持ちを育む。 ・低学年に清掃の仕方を教えることで、高学年の児童の自己有用感を高める。 ③豊かな情操を育む取組 ・環境委員会で花壇の整備、生き物広場の運営を行い、自然や生き物の命に触れる機会をつくる。 ・ラベンダーは株分けや新規の花苗を校内の空き花壇に植えることで生息場所を増やし、児童や来校する保護者、地域の方が目と香りで楽しめるようにする。観賞後は環境委員会の児童と前小サポーターで刈り取りやサシェづくりを行い、作ったサシェは感謝の会の記念品としたりお世話になった方に贈呈したりする。 ・教育活動の支援をしてくださる「前小サポーター」の活動を、与えられるだけのものにしない取組。地域、保護者、児童(学校)が相互に支え合える活動の推進。 ④地域への発信 ・活動の成果を学校だよりや学校ホームページを通して地域へ発信する。			
補助員配置	校内整備員			
実績・期待される効果	経年劣化した施設や備品も多い中、修繕や整備が行き届かなかつたり、草刈りや樹木の剪定なども校務主任や公務手だけでは手が回らなかつたりすることもあるが、校内整備員の配置によって、定期的に樹木の剪定や除草作業が行われるようになり、校内の環境整備は大きく改善している。下足箱の破損した板や教室の掃除道具入れの修繕など、計画的に行っており、児童の教育環境も整ってきている。校内整備員の勤務時間の拡大により、さらに校内環境の整備を推進していく。			
検証方法	年間を通して実施した環境整備、修繕等について、学校だよりや学校ホームページで情宣する。学校公開日等の保護者が来校する機会に見ていただき、保護者アンケートの結果を検証する。			